

(様式例)

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・4年生は、「工事の仕事」がよくできていた。総合的な学習の時間との教科横断的な取り組みも効果的だった。社会科見学などでの体験や資料などから、必要な情報を収集することができた。
- ・5年生は、「ごみの処理と利用」がほかの単元と比較するとできていた。社会的事象について考えた後に、よりよい社会を考え、学習したことをどう生活に生かすかを考えることができた。
- ・6年生は、「日本の水産業」がよくできていた。資料からわかることを話し合ったり、変化の原因や理由、推測で考えたりすることができた。

(2) 課題

- ・地図、等高線、土地利用など地図全般の見方はまだ慣れていない。ICT 機器の活用や動画や写真と結び付けるなど工夫・改善する必要がある。
- ・単元の始めの学習問題作りでは、導入の振り返りや予想を立て、学習問題を立てることが難しかった。より児童の言葉で立てられるように、資料の選定・教材提示が重要になってくる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	達成率－12.4		
第5学年	達成率－9.1	達成率－11.4 (第4学年時)	
第6学年	達成率－10.3	達成率－9.0 (第5学年時)	達成率－5.3 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値より低い正答率である。地図記号の理解やの知識の定着に低さが見られる。	・目標値より低い正答率である。資料を読み取り、グラフを書くことや課題解決の記述を考えることに低さが見られる。	・目標値より低い正答率である。特に、記述式の問題の無解答率が高い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値より低い正答率である。都道府県の地形等の知識理解の低さが見られる。 ・世界の国土と地形、日本の国土と人々の暮らしの知識理解が不十分である。	・目標値より、やや低い正答率である。資料を読み取り、課題解決策を考えることに低さが見られる。	・目標値より、やや低い正答率である。特に、記述式の問題の無解答率が高い。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会科見学などで普段体験することができないことを学習する機会を用意する。 ・写真や動画の映像を用いて、疑似的に体験活動を行って理解を深められるようにする。	・様々な種類の資料やタブレット端末を活用して必要な情報を収集したり、選択したりする学習経験を積ませる。 ・社会科見学で体験したことや資料から読み取ったことを生かし、新聞を作成する。 ・資料から考えたことや読み取ったことをノートに記述したり、学習内容を自分の言葉でまとめたりする学習を多くする。	・社会的事象について、予想を立てたり、学習を振り返って見直したりして、学習問題を追究、解決する経験を積ませる。またその中で、よりよい社会を考え、学習したことをどう社会生活に生かすかを自分の言葉でまとめる力が身に付くように、考える機会を増やす。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・毎時間、授業の最初に前時の復習を行い、既習事項の確認と本時とのつながりを意識させる。 ・まとめや学習感想では、授業で学んだキーワードを活用し、まとめを書かせる。 ・普段から地図帳と教科書の内容、または画像や映像などを使って、地域の特色や位置を意識させ、学んでいることと地域性を結び付けて考えられるようにする。	・資料から読み取ったことに対し、変化の原因や理由などを社会の見方・考え方を働かせて考える学習を増やす。 ・いままで学習してきた内容との類似点や共通点、歴史的背景などを生かし、考えることができるように資料や授業の流れを工夫する。	・資料から読み取る活動を多く設け、身の回りの事象や生活経験とのつながりがもてるようにする。 ・社会的事象について問いを立てる活動を取り入れる。学習問題を作る際に、予想や疑問を出し合い、これから何を追及・解決していけばよいかを捉え、学習に臨めるようにする。